

# 地域県土警察常任委員会資料

(令和5年10月11日)

[ 件 名 ]

- 投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会（第2回）の開催結果について  
【市町村課】・・・ 2ページ
- 鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について  
【県民参画協働課】・・・ 3ページ
- 第19回アジア競技大会における鳥取県関係日本代表選手の結果について  
【スポーツ課】・・・ 5ページ

地域社会振興部

## 投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会（第2回）の開催結果について

令和5年10月11日  
市 町 村 課

投票参加の促進、投票環境の整備、シティズンシップ教育の推進など、県民の政治参加を促進するための対策について研究するため、標記の研究会の第2回目の会議を開催しましたので、その概要を報告します。

### 1 日時・場所等

- (1) 日時 9月29日（金）9:30～11:25
- (2) 場所 県庁議会棟3階 特別会議室
- (3) 内容 主権者教育、投票環境向上等に関する意見交換、町村議会議長会からの聴取等
- (4) 出席者  
ア 委員（6名）

谷口 尚子（座長）	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
河村 和徳（副座長）	東北大学大学院情報科学研究科准教授
井上 昌之	株式会社新日本海新聞社 執行役員編集制作局長
小島 勇人	一般社団法人選挙制度実務研究会 理事長
山下 美代子	米子市民生児童委員
山田 史子	鳥取中央育英高等学校教頭

#### イ 自治体代表（2名）

伊達 憲太郎 境港市長	鳥取県市長会
平井 伸治 鳥取県知事	鳥取県

#### ウ 参考人

山根 政彦 若桜町議会議長	鳥取県町村議会議長会
---------------	------------

※鳥取県町村会は欠席。総務省自治行政局行政課、同省選挙部選挙課・管理課、各市町村がオンラインで視聴



### 2 主な意見等

- 学校での主権者教育は、一日限りの授業ではなく、スーパーマーケットがなくなっていくというような地域課題など実際の行政の動きとリンクさせて、長期的に行うべき。
- 様々な問題に投票が関わってくるといったことを含め、主権者教育のカリキュラムを県として作ってはどうか。
- 主権者教育と議員のなり手不足はリンクしている。地方議会が主権者教育の役割を果たすことも必要である。
- 学校の生徒会選挙等で、実際の選挙のやり方で生徒が選挙管理委員会を組織して選挙を管理することにより、選挙に対する関心は高まる。
- アニメやマンガを活用して、生徒にとってとっつきやすい情報の入手方法を検討してもいい。
- 政治の側が若い世代を信頼して積極的に意見を聞いて実現させることによって、政治への意識が高まる。いろんな成功体験を積み重ねることが投票率向上につながる。
- なり手不足に関し、特に町村議会議員の報酬は低く、根本的に見直す必要がある。
- 議員や議会の活動をいかに住民の方に知っていただくかという努力の継続が必要である。
- 投票所数や立会人の確保など同様の問題を市町村が抱えているので、移動式の期日前投票所や移動支援のバスを走らせる取組などを全県的に考える必要がある。
- 政治をタブー視する傾向を打破する方法を考えることも必要である。

### 3 今後の予定

第3回の研究会を11月上旬頃開催し、議論を深めつつ、具体的な取組・施策の検討を行う。

研究会	時期	検討事項・内容等
第3回	11月上旬頃	具体的な取組・施策の検討等
第4回	11月下旬頃	研究会報告内容の検討
第5回	12月中旬頃	研究会の結果とりまとめ

# 鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について

令和5年10月11日  
県民参画協働課

「鳥取県令和新時代創生戦略」に掲げる政策をはじめ県政全般の満足度などについて県民にアンケートする「鳥取県の政策に関する県民意識調査」(第8回)を実施しましたので、その結果について報告します。

## 1 調査概要

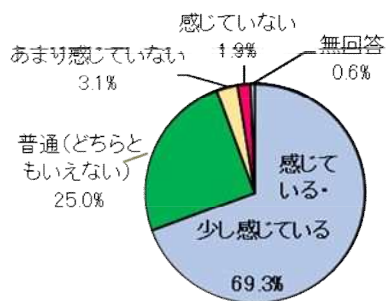
- (1) 目的 県民の関心や意向、要望等の意識を把握するとともに、継続調査をすることで、その意識の変化を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活用する。
- (2) 調査対象 県内在住の18歳以上75歳未満の者3,000名(住民基本台帳に基づく無作為抽出法)
- (3) 調査方法 郵送(回答は調査票の返送又は電子申請サービスによる回答のいずれかを選択)
- (4) 調査期間 令和5年6月30日から8月25日まで
- (5) 回答数 1,706名(1,706/3,000名 回答率:56.9%(令和4年度比1.8ポイント減少))

## 2 結果概要

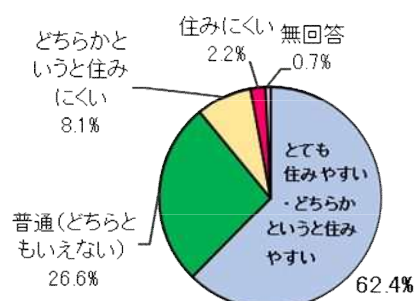
### I 鳥取県の住みやすさ

- ①「鳥取県に対しての愛着や誇り」には、69.3%の人が「(愛着や誇りを)感じている」と回答し、「今暮らしている地域の住みやすさ」には、62.4%の人が「住みやすい」と回答した。いずれも高い水準ではあるものの、令和2年度から毎年度やや減少傾向にある。
- ②「鳥取県の暮らしに関してどう思うか」10項目について聞いたところ、「そう思う」との回答は「豊かな自然環境に恵まれている」が88.7%で8年連続で最も高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.7%であった。
- ③鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか(10段階評価、10が「とても幸せ」)を聞いたところ、「5」(普通)が28.0%、次いで「8」が19.9%で、「5」以上の回答は90.4%と全体の約9割を占め、前年度(89.1%)に引き続き高い割合となった。

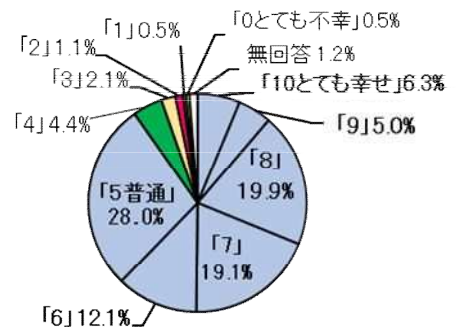
鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか



今暮らしている地域の住みやすさ



鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか



### II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度

(1) 鳥取県が実施している施策等に関し、①～③のテーマごとに満足度(5段階)及び今後の優先度(重要度が高い取組を3つ選択)について質問した。

#### ①豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

7つの取組について聞いたところ、満足度は昨年度と比較して概ね横ばいで、今後優先すべき項目は「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が58.4%と最も多く、平成28年度から毎年度割合が増えている。

#### ②人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

9つの取組について聞いたところ、満足度は昨年度と比較して概ね横ばいで、今後優先すべき項目は「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が50.9%と最も多く、次いで「地域で子育て世代を支える取組」50.5%となっている。

#### ③幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

9つの取組について聞いたところ、満足度は昨年度と比較して概ね横ばいで、今後優先すべき項目は「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が62.9%と最も多く、前年度から4.9ポイント増加した。

## (2) 男女共同参画社会づくり

### ①男女に関する役割などについて

8つの項目について聞いたところ、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」「現実として介護が女性の役割となっていると思う」のいずれの項目も「そう思う（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の計。以下同じ。）」の回答は、依然として70%以上の高い割合であるが、このうち「家事」及び「子育て」については、「そう思う」の割合は年度ごとに減少傾向にある。

### ②男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策

8つの施策を提示したところ、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が58.5%と、5年連続で最も多かった。

## (3) SDGs（持続可能な開発目標）の推進

### ①SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか

「聞いたことがある」は87.9%、「聞いたことがない」は10.8%であった。「聞いたことがある」は、令和2年度（29.9%）以降、毎年度割合が増えている。

### ②SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題

「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が42.1%、「平和と安全・安心社会の実現」が39.3%と昨年度に引き続き上位となっている。

## Ⅲ 重点施策への関心・認識 空き家増加問題への対応について

### ①住んでいる地域では空き家が増えていると感じるか

「増えていると感じる」は67.2%、「増えているとは感じない」は18.1%であった。

### ②空き家が増加すると問題と思われること

「放置され、周囲に危険を及ぼす老朽化した建物が増えること」が86.7%と最も多く、次いで「衛生環境や治安の悪化など、住環境の不安につながること」が73.2%であった。

### ③将来空き家を管理する可能性

「ある（ご実家や、現在、親や親族などが居住している住宅を相続する場合等）」が36.3%、「ある（住み替えによりご自分の住まいが不要になる場合）」が10.6%、「ない」が36.5%だった。

### ④自分の住まいや実家等の将来について話し合う必要性を感じているか

「話し合いの必要性を感じる」の回答が約8割（79.8%）となっているが、そのうちの約半数は「具体的な話し合いの予定はない」としている。

### ⑤空き家問題の解決に向けて特に必要だと思われること

「行政による支援の充実」が54.9%と最も高く、次いで「空き家所有者・管理者の意識改革」が43.1%であった。

## 3 今後の活用

アンケート結果は、庁内各課と共有し、各種会議のほか、今後の施策の立案や評価・見直し等の過程において基礎資料として活用する。

## 第19回アジア競技大会における鳥取県関係日本代表選手の結果について

令和5年10月11日  
スポーツ課

中国・杭州で開催された第19回アジア競技大会での鳥取県関係者の成績について報告します。

### 【大会概要】

大会名：第19回アジア競技大会（2022/杭州）  
大会期間：9月23日（土）～10月8日（日）  
開催地：中国・杭州市（日本との時差－1時間）  
競技：40競技481種目  
本県関係参加選手：8名 ※銀メダル1、銅メダル1、その他入賞6

### 1 本県出身選手

競技（種目等）	氏名	出身地	出身校	所属
ローイング （女子エイト）	富田 千愛	米子市	米子東高、 明治大院修了	東京大学 RSL
水泳／飛込 （女子3m飛板飛込）	三上 紗也可	米子市	米子南高	日本体育大4年
陸上競技 （男子ハンマー投）	柏村 亮太	北栄町	倉吉北高、日本大	ヤマダホールディングス
陸上競技 （男子やり投）	小椋 健司	琴浦町	倉吉総合産業高、 日本大	(株)エイジェックススポーツマネ ジメント
ローイング （男子エイト）	古田 直輝	南部町	米子工業高、 明治大	NTT東日本
ライフル射撃	中口 遥	日吉津村	日野高、 同志社大学	滋賀ダイハツ販売（株）
ボクシング （女子54kg級）	木下 鈴花	米子市	米子西高、 日本体育大学	(株)クリエイティブサポート
スポーツクライミング （女子スピード）	林 かりん	北栄町	鳥取中央育英高	鳥取県山岳・スポーツクライミ ング協会

### 2 各選手の大会成績

選手名	競技名	成績
富田 千愛	ローイング	女子エイト ⇒ 銀メダル
三上 紗也可	水泳（飛込）	女子3m飛板飛込 ⇒ 銅メダル
柏村 亮太	陸上競技	男子ハンマー投 ⇒ 4位入賞
小椋 健司	陸上競技	男子やり投 ⇒ 5位入賞
古田 直樹	ローイング	男子エイト ⇒ 5位入賞
中口 遥	ライフル射撃	女子10mエアライフル ⇒ 個人33位、団体10位 女子50mライフル3姿勢 ⇒ 個人27位、団体5位入賞
木下 鈴花	ボクシング	女子54kg級 ⇒ 5位入賞
林 かりん	スポーツクライミング	女子スピード ⇒ 6位入賞

### 3 本県出身日本代表監督・コーチ

競技名	役職	氏名	所属
スポーツクライミング	監督	安井 博志	日本山岳・スポーツクライミング協会
フェンシング	コーチ	西垣 仁志	日本フェンシング協会
水泳（飛込）	コーチ	安田 千万樹	鳥取県地域社会振興部スポーツ課